

主婦会定期総会ひらく

CO・遺族闘争を軸に

班会議、家族会議をいまいちど

三池主婦会の第十五回定期総会は七月二十四日午前九時から大牟田労働会館でひらかれた。過去二年間CO・遺族闘争の中心となってきた主婦会は、新体制のもとに闘いを前進させることを決意した。

定期総会は過去一年間の闘いを振り返りつつ、今後の活動方針を明らかにした。

CO・遺族を守る闘いは患者や遺族を救うためのものではなく、自分たちの生命も健康もたたかなければ守れないことを三井鉱山との体面を張った対決で理解し、主婦会一体のたがひとして盛り上げるべきである。

CO法をつくり補償をある程度引き上げることができ、原爆被爆者をはじめムチ打ち症患者、イタイイタイ病患者を立ち上げさせる土台となった。

三池主婦会結成以来今年で第十五回定期大会を迎えることは、組織一本としての喜びと思ひます。

執行委員生活三年を終えました。私は、この一年間、分業の中心に身をまかせ、これまで不十分な点ばかりで、会員のみなさんの期待にこたえなかつたことを強く反省しております。

三池闘争、三川鉱山爆発後、CO闘争を軸に、資本家・政府の労働者に対する攻撃はますますきびしさを加え、いままでは職場や地域ばかりでなく、家庭の中にも攻撃がかけられてきています。現在、主婦会員の八〇％の人々

三池主婦会結成以来今年で第十五回定期大会を迎えることは、組織一本としての喜びと思ひます。執行委員生活三年を終えました。私は、この一年間、分業の中心に身をまかせ、これまで不十分な点ばかりで、会員のみなさんの期待にこたえなかつたことを強く反省しております。

充実のうえに一層の主婦会の前進がうたわれている。

一九六八年度新役員

- ▼本部役員
- 会長 長久保 時枝
- 事務局長 島 文枝
- 組織部長 森川 くに子
- 会計 田中 静子
- 監査 西田 豊
- 山野 信子
- 中村 明子
- 西村 温子
- 下川 みも子

- ▼宮浦支部
- 支部長 藤井 えみ子
- 組織部長 大佐古さよ子
- ▼四山支部
- 支部長 菊川 五百子
- 組織部長 浦野 ふい子

- ▼三川支部
- 支部長 荒木 悦子
- 組織部長 田島 節子
- ▼本所支部
- 支部長 田中 マツエ
- ▼港務支部
- 支部長 大石 千恵子



主婦会の根性と伝統をわきたたせた第15回総会

【KNA】 ニュース・コーナー

カンザン買った昔の話。いまは二票買つた。東光和尚派の選挙反対。この国賊坊主

「原子力と闘う日本人の七割が恐怖感」(科学技術庁)。持ち主が独占し、狂人にハモノだもの

十分ごとに二人が殺され、二人が暴行され、五十四人が強盗にあつた。大ニューヨークは犯罪天国。

米軍枯葉剤作戦用農薬をつくる労働者三十人が皮膚病(大牟田)、ベトナム公害、などといはれせぬ。

みいけの闘い 原水爆世界大会へ

組合はきたる八月、長崎で盛大に開催される、被爆二十三年原水爆禁止世界大会の中で、合唱詩劇「みいけの闘い」を上演することになり、合唱詩劇実行委員会での成功のための準備がすすんでいる。

側からの要請によるもので、したがつて劇の内容も、CO闘争の意義のうたえに、原水爆禁止の要求をもつらぬかれた一面も加え、より力強いうたえになるよう一歩改めるなど、苦心がはらわれている。

この公演は、世界大会主催の

嶺公演のもつ特別の意義については、これまで原水爆禁止をめぐる諸問題を追及してきた朝日新聞がいち早く注目、すでに七月二十日の夕刊(地方では翌日の朝刊)でかなりのスペースを割いて報道したので、一般の認識も高まってきている。長崎に住む三池の一退職者からさえ、そのことをきくお便りが寄せられてきたほどである。あらためて、長崎公演の成功を祈らずにはいられない。

こんどもまた上演活動参加者は約五十人。中には主婦・CO家族

ぼく生きたかった

被爆二世 史樹ちゃんの死

「ぼく生きたかった」が出版された。原爆が広島に落とされて二十三年目。名越史樹(なごやぶみ)さん(七才)の母の操さん(38)は、広島市牛田町一四四七は十六才のとき、島市内で被爆した。二十九年、謙蔵さん(39)と結婚、一年後、長

十一月にはすむることもできなくなった。それでも、史樹ちゃんは苦痛に耐えて、この年を生きた。一もう年末も年始もない。あんなにたかいたかいた。二月三十一日、謙蔵

一月、看病の疲れから操さんのひざに紫斑がでた。原爆症の危険信号である。二月「なにが欲しいか、書いてみて」といわれ、史樹ちゃんは考え考えた。鶏の丸焼き、ホットケーキ、中華ソバ、アイスキャンデー……。二月二十二日末明、病状が急変した。口に食わせたガーゼの棒を一度、二度しっかりと飲み込んだ史樹ちゃん。それが最期だった。「史樹、ようがんばったなあ、また暖かいほほをなでながら、私は大声で泣いた(謙蔵)「原爆は私を焼いた。そして十五年もたつて生まれきた私の子どもまで焼いてしまった」(操)

原爆で広島の母子を焼いたアメリカ兵、ナバームでベトナムの母子を焼いている。佐藤首相は昨年「旧地主補償がすすむ戦後処理は終わった」と。昨年暮れにはこういって、「いいかげんに核アレルギーを脱却することが必要だ」と。怒りをこめて、私たちが要求する。アメリカは日本からベトナムからアジアからでいって、日本が被爆者援護法を制定することを。

【KNA】

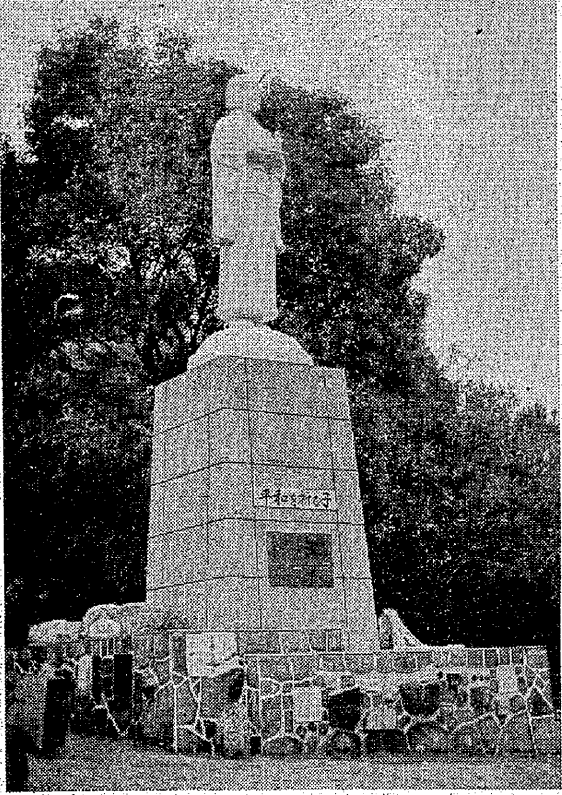
「ぼく生きたかった」東京都千代田区三崎町二二〇一石川ビル、宇野書店刊・三九〇円

三池主婦会の根性で 成長してゆきましょう

本所 川野 よし子

しかし私はこの、コソコソを高くあげて叫びたい。それは、やっかいな資金で成り立っていること、それを打開するためには、積極的に攻撃をしかけなければならぬことだと思ひます。

現在、主婦会員の八〇％の人々



新しく建つた平和の子ども像

